

(仮称)

SL人吉を使った教育プログラム化プロジェクト

企画書（案）

令和7年3月



復興政策部 交通政策課

◆ 目 的

100年を超えるSL人吉の歴史、近代化遺産(※)としての価値を市の宝として、同じく市の宝である子どもたちに体験活動を通じ身近に感じてもらい、公共交通と合わせて学びにつなげる。

※近代化遺産…幕末から第二次世界大戦期までの間に、近代的手法によって建設され、国の近代化に貢献した産業、交通、土木に関する遺産のこと

- ・令和2年7月豪雨を将来に語り継ぐ
- ・児童、生徒に肥薩線に対するマイレール意識醸成
- ・SL人吉展示場（人吉駅前駐車場）まで公共交通を使ってもらう、公共交通を身近なものへ
- ・バス、鉄道の乗り方教室（JR九州、くま川鉄道、産交バス、つばめ交通、TaKuRoo）
- ・復興へつなげる（肥薩線、くま川鉄道、まちづくりetc…）



◆ 対象者

- ・市内小中学生（令和7年度は試験的に実施）
 - 令和7年度 市内小中学校から各1～2校
 - 令和8年度 市内小中学校
 - 令和9年度～ 市外小中学校 ※修学旅行商品へと昇華

◆ 関係者

- ・人吉市（交通政策課、学校教育課、復興支援課）
- ・市内小中学校（人東小、人西小、東間小、大畑小、西瀬小、中原小、一中、二中、三中）
- ・鉄道観光案内人会
- ・JR九州、くま川鉄道、産交バス、つばめ交通、TaKuRoo

SL人吉の歴史

- **1922年11月18日に誕生**

①浦上機関区（長崎）に新造配置。以降、②若松（福岡）→③吉松（鹿児島）→④鹿児島→⑤豊後森（大分）→⑥鳥栖（佐賀）→⑦吉塚（福岡）→⑧西唐津（佐賀）→⑨若松（福岡）→⑩人吉（熊本）と九州各地で活躍

- **1975年3月**

人吉機関区で役割を終え、矢岳駅にて保存

- **1988年8月28日**

「SLあそBOY」として豊肥本線熊本～宮地間で運行開始 【復活①】

- **2005年8月28日**

「SLあそBOY」運行終了

- **2009年4月25日**

「SL人吉」として肥薩線熊本～人吉間で運行開始 【復活②】

- **2020年11月1日～12月27日**

映画「鬼滅の刃 無限列車編」とタイアップし「SL鬼滅の刃号」として運行

- **2021年5月1日～**

令和2年7月豪雨災害の影響により鹿児島本線鳥栖～熊本間で運行開始

- **2024年3月23日**

機関車の老朽化が進み、メンテナンスを担う整備士の確保も難しいことから23日で運行を終える

- **2024年3月24日**

運行終了式典が八代駅で行われ、古宮洋二取締役社長執行役員から「これから次のページを人吉市で迎えてもらいたい」と人吉市へ譲渡する発表がされる

- **2024年10月1日～2日**

引退後、整備を終えたSL人吉が人吉市へ移送される

- **2024年11月17日**

SL人吉お披露目式典を開催

- **2024年11月18日～**

SL人吉一般公開を開始

- **2025年2月12日～**

SL人吉ライトアップを開始



復活したSL人吉の雄姿(2009)



ライトアップされたSL人吉(2025)

SL人吉を活かした学びプログラム

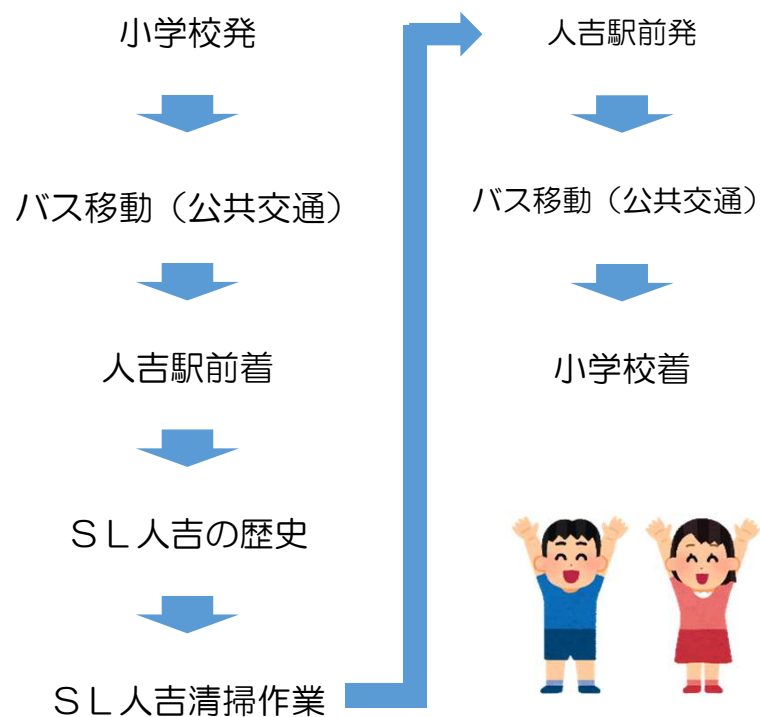
◆ プログラム（案）

- ・ 鉄道観光案内人会による、SL人吉の歴史
- ・ 人吉駅内の転車台、機関庫見学 ※日程調整あり
- ・ SL人吉清掃体験
- ・ SLの仕組み ※動態展示後
- ・ 令和2年7月豪雨、災害学習
- ・ バス、鉄道の乗り方教室（産交バス、くま川鉄道）



◆ プログラム例

小学校ver



中学校ver

